

今日のキーワード 好パフォーマンスで注目される「MLP」(米国)

米大統領選挙後の金融市場で好パフォーマンスをあげ、注目されている金融商品に「MLP」があります。「MLP (Master Limited Partnership)」は、米国の共同投資事業形態のひとつで、ニューヨーク証券取引所などに上場され取引されています。MLPは、その総所得の殆どを石油・天然ガスの採掘、精製、備蓄、輸送(パイプライン)といった資源エネルギー関連の事業から得ています。

ポイント1

良好なパフォーマンス

昨年初来では、米国株式や米国リートよりも高いリターン

- 米国の「MLP」の動向を示す代表的な指数であるアレリアン「MLP」指数は、2016年の年初から2017年2月6日までの約13カ月の間に+25.6%の上昇となりました。この間の米国ハイールド債券指数の+19.8%、S&P500種株価指数の+16.6%、米国リート指数の+9.8%を上回っています(以上すべてトータルリターン指数の上昇率。トータルリターンは、投資商品への投資から得られる総合収益のことで、価格の上昇だけでなく、再投資された配当金や利払いも含めたもの)。

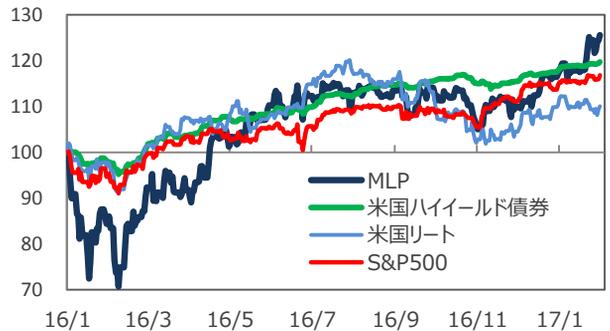
ポイント2

米中経済の立ち直りや原油価格の上昇が追い風

注目を集める高い利回り

- 良好なパフォーマンスの背景としては、世界経済のけん引役である米国、中国経済の持ち直しや原油価格の上昇と、それらを受けてリスク回避の動きが後退したことがあげられます。更に、「MLP」は収益の大半を投資家に分配するため配当利回りが相対的に高い、といった特徴が注目されたと考えられます。参考までに、2月6日におけるアレリアン「MLP」指数の配当利回りは6.68%、米10年国債利回りは2.41%です。
- 世界的な景気拡大や産油国間の協調減産等により、原油価格は底堅く推移すると予想され、MLPは堅調な展開が見込まれます。

(ポイント) 【MLPと主要資産の指数の推移】



(注1) データは2016年1月4日～2017年2月6日。(年/月)
(注2) MLPはアレリアンMLP指数、米国ハイールド債券はBloomberg Barclays米国ハイールド債券指数。米国リートは

S&P米国リート指数、S&P500はS&P500種株価指数。すべてトータル・リターン指数。

2016年1月4日を100として指数化。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開

トランプ新政権による規制緩和は「MLP」の収益拡大を支えよう

- 米国のエネルギー生産拡大を公約に掲げるトランプ大統領は、エネルギー関連プロジェクトの承認過程簡素化や、エネルギー関連の規制緩和等を推進しています。その一環として、カナダ・アルバータ州と米国メキシコ湾沿岸を結ぶ原油パイプライン等の建設計画を推進する大統領令に署名しました。こうした規制緩和によって「MLP」の事業対象が拡大し、ひいては「MLP」の収益拡大に寄与すると考えられます。

ここもチェック!

2017年01月31日 トランプ政権発足で注目の「BDC」(米国)

2017年01月30日 米国のGDP成長率(2016年10-12月期速報値)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。